

3.11東日本大震災13周年講演会

福島第1原発事故と 日本の将来を考える

「核のゴミ」



3.11東日本大震災・福島第1原発事故から13年目の年初め、元旦に石川県能登地方をマグニチュード7.6、震度7の大地震が襲い大変な被害をもたらしました。能登地方には志賀原発がありますが幸い福島第1原発事故以来運転が中止されていたため放射能被害はまぬがれました。しかし、原発では使用済み核燃料プールの冷却ポンプが一時停止、変圧器の故障、2万リットルもの油漏れ等々が明らかになっています。

稚内市民の会ではこの地震大国の日本で、改めて福島原発事故の現状と「核のゴミ」問題を考えるため、今年も講演会を開催いたします。今回は、早くから日本の原発問題、核のゴミ問題に警告・提言を出し続けてきた原子力資料情報室から高野聡さんに講演をお願いしました。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

- ❖ とき 2024年3月10(日)14時00分～15時30分
- ❖ ところ 東地区活動拠点センター1階 軽体育室
- ❖ 講師 ^{たかの さとし}高野 聡さん(原子力資料情報室スタッフ)
- ❖ 主催 高レベル放射性廃棄物施設誘致反対稚内市民の会
- ❖ 共催 平和運動フォーラム稚内支部
- ❖ 入場料 無料、但し資料代として300円頂きます

講師 高野聡さんプロフィール



1979年生まれ、神奈川県横須賀市出身。青山学院大学卒、韓国・慶北大学大学院で行政学修士号取得、ソウル大学環境大学院博士課程修了。福島原発事故で原発問題に気がつき、事故による故郷喪失、被曝労働、秘密主義的な意思決定、原子力関係者の無責任な体制が分かり、それ以来一生をかけて取り組むべき深刻な問題と思い、原子力資料情報室で活動することを決めた。

原子力資料情報室(CNIC)
Citizens' Nuclear Information Center
…… 紹介 ……

原子力に頼らない社会を実現するために活動している団体。原子力に関係した産業界から独立した市民の立場で、原子力利用の危険性に関するいろいろな資料を集め、調査、研究を行い、世界中の市民活動に役立つよう様々な形で資料を提供し、必要な政策提言も行っています。